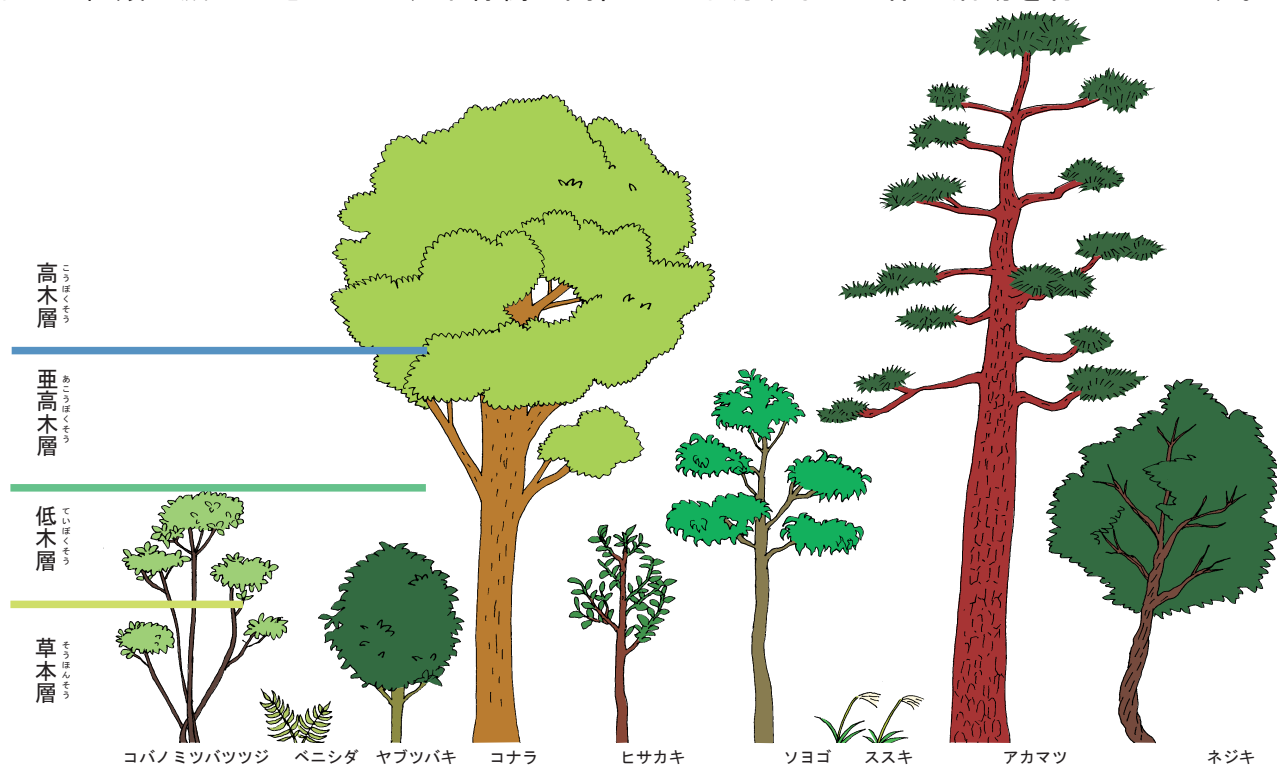


甲山の森の木々

甲山の樹木はコナラやアカマツなどの落葉樹や針葉樹が中心です。昔は、これらの木々を燃料に、またヒサカキなどの常緑樹も生活の中で使っていましたが、今ではこれらの樹木を使わなくなり、人が山に入ることも少なくなりました。森には常緑樹やササなどの下草が増え、地表に陽が射さず、植物や生きものの種類が減ってきたため、常緑樹の間伐やつる切りなどの保全活動を行っています。

アカマツ・コナラ林の構造模式図



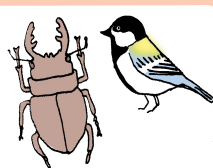
森林の大切な役割



水をたくわえる
(緑のダム)



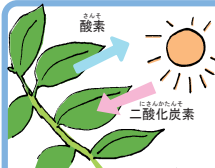
森林浴



生きものたちのすみか



おいしい水をつくる



二酸化炭素を吸収して
酸素を放出 (光合成)



材料や燃料

かぶとやま

甲山で見られる木

常緑樹

冬でも緑の葉がしげる木。

ヤブツバキ、ソヨゴ、
ヒサカキなど



落葉樹

冬になると葉を落とす木。

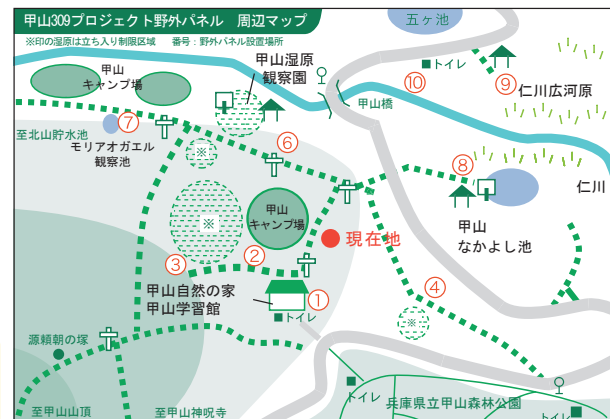
コナラ、クヌギ、
サクラ、メタセコイア、など



針葉樹

細くとがった葉っぱの木。

マツ、スギなど



寄贈：



NP0法人こども環境活動支援協会

この野外解説板のデザインは平成21年度ライフ&ネピア環境助成事業
(株式会社ライフコーポレーション・王子ネピア株式会社) により作成しました。